

地震報告

明治四十三年

第二號

地名
地震ニ感セシ地名
ヲ記スヘシ

臺北

震動年月日ノ
年月日時及分秒ヲ
記スヘシ(標準時)

明治四十三年八月廿九時五十分四十分

震動時間ノ
震動ノ初ヨリ震動
ノ終マテノ時及分
秒ヲ記スヘシ

三四分十四秒

(地計ニ見)

震動方向ノ
北北東東南東南南
西西北西ノ八方位
ニ分記スヘシ

不詳

震動強弱ノ
微弱強烈ノ四種ニ
分記スヘシ

微(人体ニ感覺アリ)

震動性質ノ
水平動上下動聲響
ノ有無ヲ記スヘシ

細微音アリ 聲響ナシ

雜記
前項ニ洩タルモノ
ノモルヲ記ス

地計観測

初期微音 二分 八五

主要動 一分 六八秒

終期微音 二分 五〇秒

地計観測

平均週期 最大振幅

左列の通り

波の上へは、右へは、

六、〇秒

三、八秒

二、八秒

二、五秒

一、〇二秒

四、〇七秒

〇、三八秒

二、八秒

二、五秒

五、〇秒

二、八秒

二、五秒

二、八秒

報告者住所姓名

國郡

町

番地 臺北地測候所



此谷
大浦入ハシ
獻録ニ懸チテ此谷
臺北

三七
地 震 報 告
明治四十三年 第三 號

地名	地震ニ感セシ地名 ヲ記スヘシ	臺北
	年月日時及分秒ヲ 記スヘシ(標準時)	明治四十三年一月十日午後十時五十分十六秒
震動ノ 時間	震動ノ初ヨリ震動 終マテノ時及分 秒ヲ記スヘシ	三分五秒四 (世物計ニ云)
震動ノ 方向	北東東南南南 西北西南八方位 ニ分記スヘシ	不詳
震動ノ 強弱	微弱強烈ノ四種ニ 分記スヘシ	微(人体ニ感覺ナシ)
震動ノ 性質	水平動上下動聲響 ノ有無ヲ記スヘシ	去而垂テ聲響ナシ
雜記	前項ニ洩入記 シヘス	地帯計觀測 初期微動 一七八秒 平均週期 最大振幅 主要動 一七八秒 二期微動 二分五秒 三期微動 二分五秒 性質相急 九秒微 地帯ナシ

報告者住所姓名
國 郡 村 町
番地
臺北測候所



報告者住所姓名	雜 記	震動ノ 性 質	強 弱	震動ノ 方 向	震動ノ 時 間	震動ノ 年 月 日	地 名
	前項ニ洩タル ノモルタル 記						
國 郡 村 町	性質急 初期微動 一三七八秒 主要動 四七六秒 終期微動 二分八八秒	水 平 動 上 下 動 聲 響 ノ 有 無 ヲ 記 ス ヘ シ	微 弱 強 烈 ノ 四 種 ニ 分 記 ス ヘ シ	北 北 東 東 南 南 南 西 西 北 北 西 西 八 方 位 二 分 記 ス ヘ シ	震動ノ初ヨリ震動 ノ終マテノ時及分 秒ヲ記スヘシ	年月日時及分秒ヲ 記スヘシ(標準時)	臺 北
番 地	地勢計観測 平均週期 最長振幅 合上週期 一二秒 〇.四四秒 一〇秒	細微ノ上下動ヲ 詳観者ナシ	微(人作ノ感覺ナシ)	不詳	三分二〇二秒 (地勢計三〇二)	明治四十三年一月十三日午後七時五五分四十六秒	





地震ニ感セシ地名
 震動ノ初ヨリ震動
 二分十秒
 不存
 微(人作ノ感覺アリ)

地名	年月日時及分秒ヲ記スヘシ(標準時)	震動ノ時間	震動ノ方向	震動ノ強弱	震動ノ性質
鹿北	明治四十三年一月十六日午前七時十八分三秒	二分十秒	不存	微(人作ノ感覺アリ)	水平動上下動聲響ノ有無ヲ記スヘシ
雜記	前項ニ洩シ入記				

世帯計観測
 初期微動 一二〇秒 幸島岡畑
 主要動 三七七秒 長六原畑
 後期微動 分三三三秒 〇、〇七秒
 地震急大及微、地震ナリ

報告者住所姓名

國 郡

村 町

番地 鹿北測候所



地震ニ感セシ地名
 地震ニ感セシ地名
 地震ニ感セシ地名

地震報告

明治四十二年 第六號

地名
 地震ニ感セシ地名
 ナ記スヘシ

臺北

年月日
 年月日時及分秒ヲ
 記スヘシ(標準時)

明治四十二年六月廿十時三十四分〇五分

震動ノ時間
 震動ノ初ヨリ震動
 秒ヲ終マテノ時及分
 ナ記スヘシ

二分三十七秒

(地動計ニヨル)

震動ノ方向
 北北東東南南
 西西北西ノ八方位
 ニ分記スヘシ

不詳

震動ノ強弱
 微弱強烈ノ四種ニ
 分記スヘシ

微(人体ニ感覺ナシ)

震動ノ性質
 水平動上下動聲響
 ノ有無ヲ記スヘシ

上下動聲響皆無ナシ

雜記

前項ニ洩タルモルヲ
 前項ニ洩タルモルヲ
 シヘス入記

地動計觀測
 初期微動 一四七秒
 主西ヤ初 三七三秒
 終期微動 一分三五三秒
 平均週期 四五秒
 最大振幅 〇・九尺
 最大加速度 〇・〇八尺

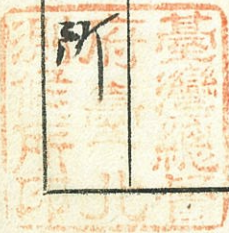
報告者住所姓名
 國郡
 村町
 番地
 臺北測候所



此
谷
世
實
子
世
谷
臺
北

地 震 報 告
明治四十三年 第七 號

報告者住所姓名	國 郡 村 町	番地	地名	震動年月日	震動時間	震動方向	震動強弱	震動性質	雜記
				年月日時及分秒ヲ記スヘシ(標準時)	震動ノ初ヨリ震動ノ終マテノ時及分秒ヲ記スヘシ	北東東南南南西西北北西ノ八方位ニ分記スヘシ	微弱強烈ノ四種ニ分記スヘシ	水平動上下動聲響ノ有無ヲ記スヘシ	前項ニ洩タルモノヲノモルニ入記
			臺北	明治四十三年一月廿一日午前一時三十七分三十八秒四	十八分三十四秒四	不詳	微	人體ニ感覺アリ	性質 緩慢 地動計観測 初期級 一五八秒 主要初動 一分〇三秒 終期級 四分二六六秒
									南北初動最大振幅 一〇九秒 東西初動最大振幅 一三三秒 東西初動最大振幅 一五五秒 東西初動最大振幅 二二七秒 東西初動最大振幅 二〇〇秒 東西初動最大振幅 三三三秒



此
谷
大暗スハ
此類ニ類スルハ此類
臺灣史

地震報告

明治四十三年 第八號

報告者住所姓名	地名		震動ノ 年月日 時分秒	震動ノ 時間 秒分	震動ノ 方向 北北東東南南 西西北西ノ八方位 ニ分記スヘシ	震動ノ 強弱 微弱強烈ノ四種ニ 分記スヘシ	震動ノ 性質 水平動上下動聲響 ノ有無ヲ記スヘシ	雜記	
	前項ニ洩タルモルヲ シヘス入記							記	
國郡町 番地 臺灣北洲候所	臺北		明治四十三年正月二十日午前 時四分五秒五	三分二十秒五 (地動計三)	不詳	微 (人体ニ感覺十二)	上下動五、聲響十二	地動計觀測 初期微動 一五四秒 主要動 一分四二八秒 終期微動 一分三〇三秒 地質緩慢	平均振幅 最大振幅 〇・一七秒



地名 地震ニ感セシ地名
ヲ記スヘシ
臺北

年月日時 年月日時及分秒ヲ
記スヘシ(標準時)
明治四十三年一月廿五午前
時五分十九秒

震動ノ時間 震動ノ初ヨリ震動
ノ終マテノ時及分
秒ヲ記スヘシ
二分三十五秒
(地動計ニ見)

震動ノ方向 北北東、東、南東、南、南
西、西北、西ノ八方位
ニ分記スヘシ
不詳

震動ノ強弱 微弱強烈ノ四種ニ
分記スヘシ
微(人体ニ感覺ナシ)

震動ノ性質 水平動上下動聲響
ノ有無ヲ記スヘシ
上下動聲響ナシ

雜記 前項ニ洩レタルモルタル
ノ入記
地動計観測
平均週期 最大振幅
初期微動 一五、三秒
主期微動 五、七秒
終期微動 九、九秒
一三秒
〇、〇秒
性質緩慢ニ極微ノ地震ナリ

報告者住所姓名 國 郡 町 番地
臺北測候所



地名
地震ニ感セシ地名
ヲ記スヘシ

臺北

震動年月日
年月日時及分秒ヲ
記スヘシ(標準時)

明治四十三年一月三十日午前十一時三十分三十六秒

震動時間
震動ノ初ヨリ震動
ノ終マテノ時及分
秒ヲ記スヘシ

二分五秒六
(地動計ニヨリ)

震動方向
北北東、東、南東、南、南西、西北、西、北、西、北、西ノ八方位
ニ分記スヘシ

不詳

震動強弱
微弱強烈ノ四種ニ
分記スヘシ

微(人作、感覺ナシ)

震動性質
水平動上下動聲響
ノ有無ヲ記スヘシ

上下動及聲響ナシ

雜記
前項ニ洩タルモノ
前項ニ洩スルモノ

地動計観測
初期微動 一五、六秒
平均周期 最大振幅
主要動 一分〇五、四秒
終期微動 一分三三、六秒
地動計ニヨリ

報告者住所姓名

國 郡

町

番地 台北測候所



地震報告

明治四十三年 第一一號

報告者住所姓名	國郡町村	番地	雜記		震動ノ性質	震動ノ強弱	震動ノ方向	震動ノ時間	震動ノ年月日時	地名
			前項ニ洩シ入ルモノ	記						
台北測候所	台北	測候所	前項ニ洩シ入ルモノ	記	水平動、上下動、聲響ノ有無ヲ記スヘシ	微弱、強烈ノ四種ニ分記スヘシ	北、北東、南東、南、西、西北、西南、方位ニ分記スヘシ	震動ノ初ヨリ震動ノ終マテノ時及分秒ヲ記スヘシ	年月日時及分秒ヲ記スヘシ(標準時)	地震ニ感セシ地名ヲ記スヘシ
			地震計観測	前項ニ洩シ入ルモノ	手動、聲響者ナシ	微一人体ノ感覚ナシ	不詳	一分三十秒	明治四十三年一月三十一日午前七時四十分四十四秒	臺北
				地震計観測	手動、聲響者ナシ	微一人体ノ感覚ナシ	不詳	一分三十秒	明治四十三年一月三十一日午前七時四十分四十四秒	臺北



地震
 報告
 明治四十三年 第一二號
 臺北
 地震ニ感セシ地名
 ナ記スヘシ
 地震ニ感セシ地名
 ナ記スヘシ
 地震ニ感セシ地名
 ナ記スヘシ

地震 報告 明治四十三年 第一二號

地名 地震ニ感セシ地名 ナ記スヘシ
 臺北

年月日 年月日時及分秒ヲ記スヘシ(標準時)
 明治四十三年一月百午前五時三十五分四十三秒

震動ノ時間 震動ノ初ヨリ震動ノ終マテノ時及分秒ヲ記スヘシ
 二分十五秒 (地動計ニ記ス)

震動ノ方向 北北東、東、南東、南、西、西北、北、西ノ八方位ニ分記スヘシ
 不詳

震動ノ強弱 微弱、強烈ノ四種ニ分記スヘシ
 微一人作(感震尺ナシ)

震動ノ性質 水平動上下動、聲響ノ有無ヲ記スヘシ
 上下動、聲響、振動ナシ

雜記 前項ニ洩レタルモルヲシヘス入記
 地動計觀測
 初期微動 一三〇秒
 主要微動 三七四秒
 終期微動 分二四、六秒
 性質頗急
 手動機 最大振幅
 一〇竹 五六秒

報告者住所姓名 國 郡 村町 番地 臺北測候所



此各
 地震ニ感セシ地名
 ナ記スヘシ

地震報告

明治四十三年 第一 三號

地名
 地震ニ感セシ地名
 ナ記スヘシ
 臺北

震動年月日時
 年月日時及分秒ヲ記スヘシ(標準時)
 明治四十三年三月二十時三十分三十四秒

震動時間
 震動ノ初ヨリ震動ノ終マテノ時及分秒ヲ記スヘシ
 1

震動方向
 北北東、東、南東、南、西、西北、西、八方位ニ分記スヘシ
 不詳

震動強弱
 微弱、強、烈ノ四種ニ分記スヘシ
 微(人体ニ感覺スル)

震動性質
 水、平、動、上、下、動、壁、響ノ有、無ヲ記スヘシ
 上下動並聲響著ナリ

雜記
 前項ニ洩レタルモルナシノ入記
 地部計測器中爲欠測

報告者住所姓名
 國 郡 村町 番地
 臺北測候所



地震報告

明治四十三年

第一

四號

報告者住所姓名	國郡町村	番地	地名	地震ノ年月日時	地震ノ時間	地震ノ方向	地震ノ強弱	地震ノ性質	雜記
				年月日時及分秒ヲ記スヘシ(標準時)	震動ノ初ヨリ震動ノ終マテノ時及分秒ヲ記スヘシ	北北東、東、南、東、南、南、西、北、北、西ノ八方位ニ分記スヘシ	微弱、強烈ノ四種ニ分記スヘシ	水平動上下動聲響ノ有無ヲ記スヘシ	前項ニ洩レタルモノヲ入記スヘシ
			臺北	明治四十三年二月九日午後十時〇六分至四秒	五分四十分〇二	不詳	微	一人停、感覺十二	地動計觀測
								平均周期	一五三秒
								最大振幅	四三九秒
									一三三秒
									〇・二秒
									性質稍緩



地 震 報 告
 明治四十二年 第一 號

地 震 報 告

明治四十二年 第一 號

報 告 者 住 所 姓 名	地 名	震 動 年 月 日	震 動 時 間	震 動 方 向	震 動 強 弱	震 動 性 質	雜 記
		年月日時及分秒ヲ記スヘシ(標準時)	震動ノ初ヨリ震動ノ終マテノ時及分秒ヲ記スヘシ	北北東、東、南、東南、南、西、西北、北、西、北、西ノ八方位ニ分記スヘシ	微弱、強、烈ノ四種ニ分記スヘシ	水平動、上下動、聲響ノ有無ヲ記スヘシ	前項ニ洩レタルモノヲ入記シヘス
國 郡 村 町 番地 臺北測候所	臺北	明治四十二年二月十日 午前四時五分七秒	三分六秒 (地動計ニ見)	不詳	微	上下動並ニ聲響有リ	地動計觀測 初期微動 一三〇秒 主要動 四八〇秒 終期微動 一分六〇秒 性質急 平均週期 最大振幅 一〇秒 〇・一〇

地震 明治四十二年 第一六號

地震ニ感セシ地名
ナ記スヘシ

地震ニ感セシ地名
ナ記スヘシ

地震ニ感セシ地名
ナ記スヘシ

地震報告

明治四十二年 第一六號

報告者住所姓名	地名	震動年月日時	震動時間	震動方向	震動強弱	震動性質	雜記
		年月日時及分秒ヲ記スヘシ(標準時)	震動ノ初ヨリ震動ノ終マテノ時及分秒ヲ記スヘシ	北、北東、東、南東、南、西、西北、北ノ入方位ニ分記スヘシ	微弱強烈ノ四種ニ分記スヘシ	水不動、上下動、聲響ノ有無ヲ記スヘシ	前項ニ洩ルモノヲノモルシハス入記
國 郡 町 番地 北 測候所	蘆北	明治四十二年二月十日午前二時三十六分二十四秒	二分二十四秒五	不詳	微	極細微ノ上下動アリ、聲響ナシ	<p>地震計觀測</p> <p>初期微動 〇七・五秒</p> <p>主要動 四一・二秒</p> <p>終期微動 一分三五・八秒</p> <p>性質急 波幅相持トシ其平均週期等ノ後測計表ニ於テ</p> <p>且大振幅</p> <p>〇二七秒</p>





紙谷
七曜スヘシ
敵國ニ懸チテ紙谷

臺北

地震報告

明治四三年 第一七號

報告者住所姓名	地名	震動年月日	震動時間	震動方向	震動強弱	震動性質	雜記
		年月日時及分秒ヲ記スヘシ(標準時)	震動ノ初ヨリ震動ノ終マテノ時及分秒ヲ記スヘシ	北北東、東、南東、南、南西、西、北西ノ八方位ニ分記スヘシ	微弱、強烈ノ四種ニ分記スヘシ	水平動上下動聲響ノ有無ヲ記スヘシ	前項ニ洩シテノモルタレシノ入記
國郡町	臺北	明治四三年二月十七日午前三時〇九分二十八秒	一分五十八秒三	不詳	微弱	細微、上下動アルモ聲響有ナシ	地動計觀測 初期微動 一三三秒 主要動 五七二秒 終期微動 分〇七八秒 惜有欠報云
番地							平均週期 最大振幅 〇・九秒 〇・二〇秒



地震報告

明治四十三年 第一九號

地名
地震ニ感セシ地名
ヲ記スヘシ

皇北

震動年月日ノ
年月日時及分秒ヲ
記スヘシ(標準時)

明治四十三年二月二十七日午後十時三十分四十五秒

震動ノ
時間ノ
震動ノ初ヨリ震動
ノ終マテノ時及分
秒ヲ記スヘシ

三十七分〇三秒三

(地動計ニ見)

震動ノ
方向ノ
北北東、東南、南南
西、西北、西ノ八方位
ニ分記スヘシ

不詳

震動ノ
強弱ノ
微弱、強、烈ノ四種ニ
分記スヘシ

微(人体ニ感覺ナシ)

震動ノ
性質ノ
水、平、動、上、下、動、聲、響
ノ有、無、ヲ、記、ス、ヘ、シ

細微ノ上下動凡モ靜聲音ナシ

雜記
前項ニ
洩レタル
ノモル
シヘス
入記

地動計観測
初期微動 三九〇秒
主要動 三六〇秒
終期微動 三九〇秒
平均周期 四九秒
最大振幅 〇・五〇米
最大周期 三二秒
最大速度 八〇秒

報告者住所姓名

國郡

町

番地

皇北測候所



地 震 報 告

明 治 四 十 三 年 第 二 〇 號

地 名

地 震 二 感 七 〇 地 名
ヲ 記 ス ヘ シ

皇 北

年 月 日

年 月 日 時 及 分 秒
ヲ 記 ス ヘ シ (標 準 時)

明 治 四 十 三 年 三 月 一 日 午 後 九 時 〇 二 分 三 十 秒

震 動 間

震 動 ノ 初 ヲリ 震 動
ノ 終 マテ ノ 時 及 分
秒 ヲ 記 ス ヘ シ

一 分 十 三 秒 七

(地 震 計 三 元)

震 動 方 向

北 北 東 東 南 東 南 南
西 西 北 北 西 〇 八 方 位
ニ 分 記 ス ヘ シ

不 詳

震 動 強 弱

微 弱 強 烈 ノ 四 種 ニ
分 記 ス ヘ シ

微 一 人 侍 感 覚 ナシ

震 動 性 質

水 平 動 上 下 動 聲 響
ノ 有 無 ヲ 記 ス ヘ シ

未 知 希 々 聲 響 ナシ

前 項 二 洩 入 記
ヲ ノ モ ル タ レ シ ヲ 入 記

地 震 計 観 測
初 期 微 動 一 八 九 秒
主 要 微 動 二 四 〇 秒
終 期 微 動 三 六 八 秒
平均 週 期 〇 五 〇 秒
最 大 振 幅 〇 三 三 秒
世 實 相 急

報 告 者 住 所 姓 名

國 郡

村 町

番 地 皇 北 測 候 所



報告者住所姓名	地名	震動年月日時	震動時間	震動方向	震動強弱	震動性質	雜記
		年月日時及分秒ヲ記スヘシ(標準時)	震動ノ初ヨリ震動ノ終マテノ時及分秒ヲ記スヘシ	北、北東、東、南東、南、西、北西ノ八方位ニ分記スヘシ	微弱強烈ノ四種ニ分記スヘシ	水平動、上下動、聲響ノ有無ヲ記スヘシ	前項ニ洩レタルモルヲ入記
國郡町村 番地 臺北測候所	臺北	明治四三年二月十四日午前一時三十分五十七秒三	五十九秒三	不詳	微	上下動多ク、聲響各ナシ	<p>地動計被測</p> <p>僅カニ極微地震、波高ヲ示スニ止ル</p> <p>性稍急</p>

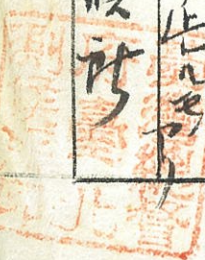
臺北測候所



此 谷
 半日即天候録セ
 大端スヘシ
 地震ニ感セシ地名
 皇北
 皇北
 皇北

地 震 報 告
 明治四十三年 第二二號

報告者住所姓名	地名	年月日時及分秒 ノ 記スヘシ(標準時)	震動ノ 時 間	震動ノ 方 向	震動ノ 強 弱	震動ノ 性 質	雜
							前項ニ 込メ テ ノ 記 ス ヘ シ
國 郡 町 番地 皇北 測候所	皇北	明治四十三年三月廿六日午前二時五十七分五十分	十五分〇四五秒	不詳	弱(弱キ方)	上下動凡モ聲響有リ	<p>普通地震計観測 細微な震動ニ始リ約十秒後水平上下両動共震動稍著明ナリ シモ約三十秒間ニシテ再び細微ナリ初震ヨリ約二分三十秒ニシテ 余り振動ヲ認メ難キニ至ル 人体ニ感覺ヲ與ヘタル時官長、性質稍急振子時計止ル</p>



地震ニ感セシ地名

直隴北

地震報告

明治四十三年 第二 二號

報告者住所姓名	雜記		地震ノ性質	強弱	震動ノ方向	震動ノ時間	震動ノ年月日	地名
	前項ニシテモルナシ	前項ニシテモルナシ						
國郡村	直隴北	直隴北	水平動上下動聲響ノ有無ヲ記スヘシ	微弱強烈ノ四種ニ分記スヘシ	北北東、東、南東、南、西、西北、西ノ八方位ニ分記スヘシ	震動ノ初ヨリ震動ノ終マテノ時及分秒ヲ記スヘシ	年月日時及分秒ヲ記スヘシ(標準時)	地震ニ感セシ地名ヲ記スヘシ
番地	直隴北	直隴北						
測候所	直隴北	直隴北						

地動計觀測

初期微弱 一五五秒
 主要部 一分二二秒
 終期微弱 二分三三秒
 以上外観能ハズ

上下部及聲響百ナシ

微(人作感スナシ)

不詳

四分〇九秒

(地動計ニヨリ)

明治四十三年四月二日午後三時三十三秒

直隴北



地震計観測

此地震ハ始メ其ノ緩慢ニシテ震動時ヨリ十七秒五ヲ経テ

急ニ振幅ヲ増大シ強震計ニ至ル一秒ノ時間ニ方向

南々西一北々東(南ニ九度西一廿三度東)ニシテ五十秒。

(曲尺一寸一分六釐)ヲ示シ最大加速毎秒毎秒八百三十九秒ヲ計筆ス

震動著明ニ時間約一分間終震動時ヨリ約五分ナリ

上下動ニ至震時ヨリ四十秒間ノ震動緩慢ナルモ十秒。

内外ノ振幅ヲ示シ其ノ最大ニ十秒(曲尺三分六釐)ヲ示セリ

地震計抽針記象紙外ニ逸出スルヲ精測リ以テ



Vertical text on the right margin, including a large character '臺' and other smaller characters.

臺灣總督府

震懼ノ

峠谷
モロスハ
峠ニ恐テハ此谷

此 震 告 開前四十三年 第二 四 總

地名
地震ニ感セシ地名
ヲ記スヘシ

直隴北

震動ノ年月日時
年月日時及分秒ヲ
記スヘシ(標準時)

明治四十二年四月十日午前八時三十二分三十分

震動ノ時間
震動ノ初ヨリ震動
ノ終マテノ時及分
秒ヲ記スヘシ

約五分

震動ノ方向
北北東東南東南南
西西北西ノ八方位
ニ分記スヘシ

南ニ元度西一北三十九度東

震動ノ強弱
微弱強烈ノ四種ニ
分記スヘシ

強(弱キ方)最大加運至毎秒毎秒八百三十九種

震動ノ性質
水平動上下動聲響
ノ有無ヲ記スヘシ

上下動アリ 聲響ナシ

前項ニ洩レタルモル
ヲノモルタルシヘス
記

報告者住所姓名

國 郡

町

番地

直隴北 測候

5





直隴北
 七階ノハ
 既爾ニ烈チシ
 既

報告者住所姓名	地名	震動年月日時	震動時間	震動方向	震動強弱	震動性質	雜記
		年月日時及分秒ヲ記スヘシ(標準時)	震動ノ初ヨリ震動ノ終マテノ時及分秒ヲ記スヘシ	北北東東南南南西西北西ノ八方位ニ分記スヘシ	微弱強烈ノ四種ニ分記スヘシ	水平動上下動聲響ノ有無ヲ記スヘシ	前項ニ洩シテモルタルシヘス入記
國郡	臺北	明治四十三年四月十三日午後九時十二分〇〇秒	三分十秒	不詳	微	下部至聲仰者ナシ	地動計ニヨル
町	臺北						平均圓切 長短幅
番地	臺北						初期微動 一三二秒 主要微動 五六九秒 終期微動 二分〇〇秒 地動計ニヨル



地震報告

明治四十七年 第二 五號

地名	年月日時及分秒 ノ 記スヘシ(標準時)	震動ノ初ヨリ震動ノ終マテノ時及分秒ヲ記スヘシ	震動ノ方向 ノ 北北東東南東南南西西北西ノ八方位ニ分記スヘシ	震動ノ強弱 ノ 微弱強烈ノ四種ニ分記スヘシ	震動ノ性質 ノ 水平動上下動聲響ノ有無ヲ記スヘシ	雜記	
						前項ニ洩タルモノ	前項ニ洩タルモノ
真北	明治四十三年四月十七日午前零時四十分三十二秒	三分三十四秒二	不詳	微	年動並靜知者ナシ	地動計観測	初期微動 一五六秒 中期微動 三六五秒 終期微動 四分一十秒 計三初息
真北						平均回期 最大振幅	〇.五 〇.五

報告者住所姓名

國郡

町

番地 真北測候所



試各
テ記スヘシ
地震ニ感セシ地名
ヲ記スヘシ

臺北

地震報告

明治四十三年 第二六號

地名
地震ニ感セシ地名
ヲ記スヘシ

臺北

年月日時
年月日時及分秒ヲ
記スヘシ(標準時)

明治四十三年四月十九日午時二時五分五十四秒

震動時間
震動ノ初ヨリ震動
ノ終マテノ時及分
秒ヲ記スヘシ

二分二秒九

(把動計、見)

震動方向
北北東、東南、南南
西、西北、西ノ八方位
ニ分記スヘシ

不詳

震動強弱
微弱、強烈ノ四種ニ
分記スヘシ

微(人作、感、見、十)

震動性質
水平動上下動聲響
ノ有無ヲ記スヘシ

上下動並、聲響皆ナシ

雜記
前項ニ洩レタルモノ
ヲ入記ス

把動計観測
初期微動 一〇九秒
主期微動 二六秒
終期微動 一分三三〇秒
平均周期 最大振幅
〇・八秒 〇・〇五秒
性質 急

報告者住所姓名

國

郡

村町

番地 臺北同後

臺灣總督
臺北
測候所印

明治

地震報告

明治四十三年 第二 七號

報告者住所姓名	地名	震動年月日	震動時間	震動方向	震動強弱	震動性質
		年月日時及分秒ヲ記スヘシ(標準時)	震動ノ初ヨリ震動ノ終マテノ時及分秒ヲ記スヘシ	北北東、東、南、東南、南、西、西北、北、西、八方位ニ分記スヘシ	微弱、強、烈ノ四種ニ分記スヘシ	水平動、上下動、聲響ノ有無ヲ記スヘシ
地動計観測	直隸北	明治四十三年四月廿二日午後八時五分三十七秒	三分三十九秒九	不詳	微弱	水平動上下動聲響ノ有無ヲ記スヘシ
初期微動						水平動上下動聲響ノ有無ヲ記スヘシ
主期微動						水平動上下動聲響ノ有無ヲ記スヘシ
終期微動						水平動上下動聲響ノ有無ヲ記スヘシ
地質稍急						水平動上下動聲響ノ有無ヲ記スヘシ
手拍因期						水平動上下動聲響ノ有無ヲ記スヘシ
最大振物						水平動上下動聲響ノ有無ヲ記スヘシ

報告者住所姓名

國

郡

村町

番地直隸北測候





地震報告

明治四十四年 第二十八號

報告者住所姓名	地名	震動年月日時	震動時間	震動方向	震動強弱	震動性質
		年月日時及分秒ヲ記スヘシ(標準時)	震動ノ初ヨリ震動ノ終マテノ時及分秒ヲ記スヘシ	北北東、東、南東、南、南西、西、北西、北ノ入方位ニ分記スヘシ	微弱、強烈ノ四種ニ分記スヘシ	水平動上下動聲響ノ有無ヲ記スヘシ
國郡町村 番地 臺北測候所	臺北	明治四十四年五月四日午後九時五十四分七秒	二分九秒	不詳	微弱	上下動並、聲響著ナシ
						地部計缺測 初期微動 一七八秒 中期微動 〇、九秒 終期微動 〇、七秒 世變稍緩幅又





地震報告

明治四十二年

第二

此各

地震ニ感セシ地名

直北

直北

直北

報告者住所姓名	地名	震動ノ時	震動ノ方	震動ノ強	震動ノ性	雜記
		年月日	向	弱	質	前項ニ洩タルモノノ入記
直北	直北	明治四十二年五月十八日午後一時十五分十秒	不詳	微	微弱	地動計観測 初期微動 主西 終期微動 性質不明 地盤より
直北	直北	明治四十二年五月十八日午後一時十五分十秒	不詳	微	微弱	地動計観測 初期微動 主西 終期微動 性質不明 地盤より



此
各
記
實
二
憑
子
の
取
付

地 震 報 告 明治四十三年 第三 二 號

報告者住所姓名	雜 記 前項ニ洩ルモノ ノ入シヘス	震動ノ	震動ノ	震動ノ	震動ノ	震動ノ	震動ノ	地名			
		性質ノ	強弱ノ	方向ノ	時間ノ	年月日ノ	年月日時及分秒ヲ 記スヘシ(標準時)	地震ニ感セシ地名 ヲ記スヘシ			
國 郡 町	性急 地節計観測	水平動上下動聲響 ノ有無ヲ記スヘシ	微弱強烈ノ四種ニ 分記スヘシ	北北東東南東南南 西西北西ノ八方位 ニ分記スヘシ	震動ノ初ヨリ震動 ノ終マテノ時及分 秒ヲ記スヘシ	四十二年六月十五日午前七時五十八分五十四秒。	二分五十六秒ニ	不詳	微(人作ノ感覺ナリ)	靜寂音ナシ	臺北
番地 臺北 測候所	初期微動 〇・八三秒 主要微動 三・三三秒 終期微動 八・六秒							平均周期 最大振幅 最大周期			



七頭スヘシ
 地震ニ感セシ地名
 北
 明治四十二年
 第三
 號

地震報告

明治四十二年 第三 號

地名 地震ニ感セシ地名
ナ記スヘシ

年月日 年月日時及分秒ヲ
記スヘシ(標準時)

震動ノ時間 震動ノ初ヨリ震動
ノ終マテノ時及分
秒ヲ記スヘシ

震動ノ方向 北、北東、東、南東、南、
西、西北、北西ノ八方位
ニ分記スヘシ

震動ノ強弱 微弱、強烈ノ四種ニ
分記スヘシ

震動ノ性質 水平動、上下動、聲響
ノ有無ヲ記スヘシ

前項ニ洩ルモノヲ
 記シヘシ
 善圓地震計 初震ヲ 西五秒ヲ經テ震動著明トナルニ一分二秒後漸次細微トナリ止ム
 總震動時 五分〇秒ハナシ
 地動計観測
 初期微動 三〇秒
 主要動 三分〇秒
 終期微動 十分三三秒
 平均周期 最長振幅 今上周期
 一〇秒 〇・一二
 二二秒 二・四三
 四八秒 〇・三八
 三九秒 三・九
 五九秒 五・六

報告者住所姓名
 國 郡 町 村
 番地
 北測候所



契

歲
時

乾隆二十八年
歲次己未
正月

正月

前號(三三號) 查照時六月十七日午時二時二十八分二十四秒

午收一時五十分二十四秒，誤寫付古作訂正，至此也

台北測候所

此
ノ
實
ニ
感
シ
地
名
ヲ
記
ス
ヘ
シ
（
標
準
時
）

地 震 報 告 書
明 治 四 三 年 第 三 六 號

報 告 者 住 所 姓 名	雜 記		震 動 性 質	震 動 強 弱	震 動 方 向	震 動 時 間	震 動 年 月 日	地 名
	前 項 二 項 洩 入 記	ノ 記						
國 郡 村 町 番 地	台北測候所	台北測候所	水平動上下動聲響ノ有無ヲ記スヘシ	微弱強烈ノ四種ニ分記スヘシ	北北東東南東南南西北北西ノ八方位ニ分記スヘシ	秒ヲ記スヘシ	年月日時及分秒ヲ記スヘシ（標準時）	地震ニ感セシ地名ヲ記スヘシ
	台北測候所	台北測候所					明治四十三年八月十八日午後七時十分三十七秒	臺北
	台北測候所	台北測候所					一分四十四秒三	
	台北測候所	台北測候所					不詳	
	台北測候所	台北測候所					微（人體ノ感覺ナシ）	
	台北測候所	台北測候所					上ノ動ニ聲ノ響ノ音ナシ	
	台北測候所	台北測候所					妙噴急丸極微地震ナリ	
	台北測候所	台北測候所					初期微動 九二秒	
	台北測候所	台北測候所					主要微動 三三二秒	
	台北測候所	台北測候所					終期微動 二六二九秒	
	台北測候所	台北測候所					最大振幅 〇.〇六	

臺灣總督
台北測候所



震動ノ
 年月日時及分秒ヲ
 記スヘシ(標準時)
 地震ニ感セシ地名
 ヲ記スヘシ
 地震ニ感セシ地名
 ヲ記スヘシ
 地震ニ感セシ地名
 ヲ記スヘシ

報告者住所姓名	國郡町村	番地	雜記		震動ノ性質	強弱	震動ノ方向	震動ノ時間	震動ノ年月日時	地名
			前項ニ洩レタルモノヲ入シ	前項ニ洩レタルモノヲ入シ						
					水平動上下動聲響ノ有無ヲ記スヘシ	微弱強烈ノ四種ニ分記スヘシ	西北北東東南西南西北東西南南	秒ヲ終マテノ時及分秒ヲ記スヘシ	年月日時及分秒ヲ記スヘシ(標準時)	地震ニ感セシ地名ヲ記スヘシ
					上下動並ニ聲響ノ有無ヲ記スヘシ	微(一人作感覺アリ)	不評	一分・五秒	明治卅三年八月二十四日午前四時五分三十三秒	台北
					僅カニ極微地震ノ感ヲ識別シ得ルニ					

地震計観測
 僅カニ極微地震ノ感ヲ識別シ得ルニ

地震計ニ云





地震ニ感セシ地名
 台北

基隆北

明治三十三年九月一日午前八時四十五分三十分

報告者住所姓名	雜記	地震ノ性質	強弱	震動ノ方向	震動ノ時間	年月日時及分秒	地名
國郡村	<p>初期微動三三〇秒。主要動十分〇二秒。終期微動四十五分〇五秒。</p> <p>結實部時五十五分三十九秒。</p> <p>稍緩慢ナル地震ニシテ初期微動三三〇秒ノ後主要動ニ移リ若シテ振幅ヲ増大シ</p> <p>三五秒ヲ經テ揺針現象紙外ニ逸出シ詳細ヲ知ル能ハズ</p>	<p>水平動上下動聲響ノ有無ヲ記スヘシ</p>	<p>微弱強烈ノ四種ニ分記スヘシ</p>	<p>北東東南南南西西北西ノ八方位ニ分記スヘシ</p>	<p>震動ノ初ヨリ震動ヲ終マテノ時及分秒ヲ記スヘシ</p>	<p>年月日時及分秒ヲ記スヘシ(標準時)</p>	<p>地震ニ感セシ地名ヲ記スヘシ</p>
台北測候所	<p>初期微動三三〇秒。主要動十分〇二秒。終期微動四十五分〇五秒。</p> <p>結實部時五十五分三十九秒。</p> <p>稍緩慢ナル地震ニシテ初期微動三三〇秒ノ後主要動ニ移リ若シテ振幅ヲ増大シ</p> <p>三五秒ヲ經テ揺針現象紙外ニ逸出シ詳細ヲ知ル能ハズ</p>	<p>水平動上下動聲響ノ有無ヲ記スヘシ</p>	<p>微弱強烈ノ四種ニ分記スヘシ</p>	<p>北東東南南南西西北西ノ八方位ニ分記スヘシ</p>	<p>震動ノ初ヨリ震動ヲ終マテノ時及分秒ヲ記スヘシ</p>	<p>年月日時及分秒ヲ記スヘシ(標準時)</p>	<p>地震ニ感セシ地名ヲ記スヘシ</p>



地動計観測

初期微動

二〇回分

主面微動

七分四厘七秒

終期微動

九分四厘九秒

總震動時間 十七分五十三秒

主面部：力ノ著ク振幅ヲ增大シ九〇秒後終ニ描針

記象紙外ニ逸出シ以下一分二厘〇秒間、記象リ

欠分

為テ低氣壓中心北東海上ニ通過中著明ニ脈動ヲ

現出シ居ルニ終リテ明カニセズ



震
報
告
三〇九
地
震
報
告
明治四十二年

大
本
報
社
印
刷
部
印
刷
部
印
刷
部

報告者住所姓名	國郡	町村	番地	地名		年月日時及分秒	震動ノ時間	震動ノ方向	震動ノ強弱	震動ノ性質	雜記	
				地震ニ感セシ地名	ナ記スヘシ						前項ニ洩レタルモルヲノ	入記スヘシ
				臺北		明治四十二年九月十日午後十一時三十分九秒	約五分三十九秒八	不詳	微弱	水平動上下動聲響ノ有無ヲ記スヘシ	地動計観測	初期微動 一八七秒 主要微動 各三二一秒 終期微動 三十分九秒
									微弱	水平動上下動聲響ノ有無ヲ記スヘシ	地動計観測	三十分九秒 最大振幅 緩慢





此谷
 地震ニ感セシ地名
 甚北
 明治四十二年
 第四十一
 報告

報告者住所姓名	國郡町村	番地	雜記		震動ノ性質	強弱	震動ノ方向	震動ノ時間	震動ノ年月日時	地名
			前項ニ洩レタルモノノ記	記						
					水動上下動聲響 ノ有無ヲ記スヘシ	微弱強烈ノ四種ニ 分記スヘシ	北北東東南東南南 西西北西ノ八方位	震動ノ初ヨリ震動 ノ終マテノ時及分 秒ヲ記スヘシ	年月日時及分秒ヲ 記スヘシ(標準時)	地震ニ感セシ地名 ナ記スヘシ
				甚微ノ地震ニシテ僅カニ其痕跡ヲ識別シ得ルニシテ	上下動聲響細音ナシ	微(人作ノ感覚ナシ)	不詳	五十三秒 (地動計ニ見)	明治四十二年九月六日午後六時三十分三十四秒	甚北





此谷
 地震ニ感セシ地名
 地震ニ感セシ地名
 地震ニ感セシ地名
 地震ニ感セシ地名

地震ニ感セシ地名
 地震ニ感セシ地名
 地震ニ感セシ地名
 地震ニ感セシ地名

地名
 地震ニ感セシ地名
 地震ニ感セシ地名
 地震ニ感セシ地名

年月日
 年月日時及分秒ヲ
 記スヘシ(標準時)
 明治四十二年九月八日午前六時十分四十八秒

震動ノ時間
 震動ノ初ヨリ震動
 秒ヲ終マテノ時及分
 一分十分三

震動ノ方向
 北北東東南東南南
 西西北西ノ八方位
 不詳

震動ノ強弱
 微弱強烈ノ四種ニ
 分記スヘシ
 微(人體ニ感覺アリ)

震動ノ性質
 水平動上下動聲響
 ノ有無ヲ記スヘシ
 上下動聲響アリ

雜記
 前項ニ洩タルモノノ
 記入スヘシ
 地震計測
 初期微動 七三秒
 主要微動 二七五秒
 終期微動 三六五秒
 震下振幅 〇・八秒

報告者住所姓名
 國郡
 村町
 番地
 臺北測候所





震動ノ
 年月日
 地震ニ感セシ地名
 ナ記スヘシ
 地震ニ感セシ地名
 ナ記スヘシ
 震動ノ
 年月日
 地震ニ感セシ地名
 ナ記スヘシ
 震動ノ
 年月日
 地震ニ感セシ地名
 ナ記スヘシ

地名
 地震ニ感セシ地名
 ナ記スヘシ
 台北
 明治四十二年九月十日午前三時九分十秒

年月日
 年月日時及分秒ヲ
 記スヘシ(標準時)
 明治四十二年九月十日午前三時九分十秒

震動ノ
 時間
 震動ノ初ヨリ震動
 ノ終マテノ時及分
 秒ヲ記スヘシ
 二分三十九秒一
 (北東計測)

震動ノ
 方向
 北北東東南南
 西西北西ノハ方位
 二
 不詳

震動ノ
 強弱
 微弱強烈ノ四種ニ
 分記スヘシ
 微
 (人体ニ感テナシ)

震動ノ
 性質
 水平動上下動聲響
 ノ有無ヲ記スヘシ
 上下動有、聲響有ナシ

雜
 前項ニ洩レタルモル
 ナノ入記
 北東計測
 初期微初 一六〇秒
 五五〇秒 一三秒
 只四秒
 終末初時 五分三十九秒一
 島田組 呂森陽

報告者住所姓名
 國 郡 村 町
 番地
 台北測候所





震

三一

地

報

告

此
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十

報告者住所姓名	國郡	村町	番地	雜記		震動ノ性質	強弱	震動ノ方向	震動ノ時間	年月日時	地名
				前項ニ洩レタルノモルシヘス入記	記						
台北測候所	台北	測候所	台北	初期微動 一五〇秒 主要初動 五六〇秒 終期微動 三分二〇秒 總震初時右四分十五秒り 平均四期 最大振幅 二〇秒 二〇秒 在微地震也	地節計観測 初期微動 主要初動 終期微動 總震初時右四分十五秒り	水平動上下動聲響 ノ有無ヲ記スヘシ	微弱強烈ノ四種ニ 分記スヘシ	北東東南東南南 西北北西ノ八方位 二分記スヘシ	震動ノ初ヨリ震動 ノ終マテノ時及分 秒ヲ記スヘシ	明治四十二年九月十四日午前四時五十五秒	基隆北





臺灣

臺灣
 中華民國十年九月十日
 臺北
 臺灣總督

報告者住所姓名	國郡町村	番地	地名		年月日時及分秒 記スヘシ(標準時)	震動ノ 時間	震動ノ 方向	震動ノ 強弱	震動ノ 性質	雜記	
			地震ニ感セシ地名 ヲ記スヘシ	前項ニ洩入シ タルモノ ヲ記スヘシ							
			臺北	臺北	民國十年九月十日午後一時十分四十八秒	一分三十八秒三	不詳	微弱	水平動上下動聲響ノ有無ヲ記スヘシ	地動計観測 初期微動 一五七秒 主期微動 三一三秒 終期微動 五一三秒 總震前時分 三十八秒三	手動初期 量振幅 二〇秒 〇・五秒



天

賦
各
賦實二懸子
賦各

其
水

地象部考四六号
九月廿五日
表至微
人作
感覺十二

微
人作
感覺十二
誤
作
不
宜
汗
石
上
下
也

七階ノハ
地震ニ感テハ

甚北

地名
地震ニ感セシ地名
ヲ記スヘシ

甚北

震動ノ年月日
年月日時及分秒ヲ
記スヘシ(標準時)

明治四十三年九月十九日午後十時三十分二十四秒

震動ノ時間
震動ノ初ヨリ震動
終マテノ時及分
秒ヲ記スヘシ

一分四秒八

地震計ニ

震動ノ方向
北北東東南南
西北西ノ八方位
ニ分記スヘシ

不詳

震動ノ強弱
微弱強烈ノ四種ニ
分記スヘシ

微(人体ニ感覺ナシ)

震動ノ性質
水平動上下動聲響
ノ有無ヲ記スヘシ

上下動並ニ聲響ナシ

前項ニ洩レタルモノ
ノモルタレシハ入記

地震計観測
初期微動一三一秒
主動部三五二秒
後期微動五七五秒
極微ノ地震ナシ

報告者住所姓名

國郡

町村

番地
台北測候所





震
第
八
号

地震ニ感セシ地名
ヲ記スヘシ

報告

明治四十二年

震
源

モ頭スヘシ
地震ニ感セシ地名

震
源

Handwritten notes in the right margin, including "震源" and "震源" repeated vertically.

報告者住所姓名	地名	年月日時及分秒 年 月 日 時 分 秒 記スヘシ(標準時)	震動ノ 時間	震動ノ 方向	震動ノ 強弱	震動ノ 性質	雜
							記
國 郡 村 町	臺北	明治四十二年九月廿五日午後三時三十四分三十八秒	三十分	不詳	微弱	水不動上下動聲響ノ有無ヲ記スヘシ	前項ニ洩タルモルヲノシヘス記
番地							在微地震ノシテ僅ク其ノ振動ヲ洩別シ得ル
台 北 側 候 所							

(地動計ニ見)



震

此地
 地震ニ感セシ地名
 北
 明治四十年十月一日午後八時十七分四十五秒
 北
 初計
 北

報告者住所姓名	雑記 前項ニ洩レタルモルヲノ 入記スヘシ	震動ノ性質	震動ノ強弱	震動ノ方向	震動ノ時間	年月日時	地名
		水平動上下動聲響 ノ有無ヲ記スヘシ	微弱強烈ノ四種ニ 分記スヘシ	西北北東東南南 西西北東南南 方位	秒ノ終マテノ時及分 秒ヲ記スヘシ	年月日時及分秒ヲ 記スヘシ(標準時)	地震ニ感セシ地名 ナ記スヘシ
報告者住所姓名 國郡 村町 番地 台北測候所	世心 極微、地震ニシテ僅カニ其振動ヲ出ルニシテ	上下動無聲響ナシ	微(人体ニ感覺ナシ)	不詳	早九秒 (初計ニ見)	明治四十年十月一日午後八時十七分四十五秒	台北

測候所
 台北



震
第

一
地
震

報
告

明
治
四
十
三
年

第
五

四
號

辛
巳
日
初
夜
餘
カ
震
動
ノ
強
弱
ニ
關
ス
ル
事
ヲ
記
ス

臺
北
地
震
報
告
第
五
號
明
治
四
十
三
年
十
月
四
日
午
後
十
時
五
分
八
秒

地
名
地
震
ニ
感
セ
シ
地
名
ヲ
記
ス
ヘ
シ

臺
北

震
動
ノ
年
月
日
年
月
日
時
及
分
秒
ヲ
記
ス
ヘ
シ
(標
準
時)

明
治
四
十
三
年
十
月
四
日
午
後
十
時
五
分
八
秒

震
動
ノ
時
間
震
動
ノ
初
ヨ
リ
震
動
ノ
終
マ
テ
ノ
時
及
分
秒
ヲ
記
ス
ヘ
シ

二
分
三
六
秒

(
地
震
計
ニ
ヨ
リ
)

震
動
ノ
方
向
北
東
南
東
南
西
北
西
北
西
ノ
八
方
位
ニ
分
記
ス
ヘ
シ

不
詳

震
動
ノ
強
弱
微
弱
強
烈
ノ
四
種
ニ
分
記
ス
ヘ
シ

微
(
人
作
ノ
感
覺
ナ
シ
)

震
動
ノ
性
質
水
平
動
上
下
動
聲
響
ノ
有
無
ヲ
記
ス
ヘ
シ

音
動
著
聲
響
給
音
ナ
シ

雜
記
前
項
ニ
關
ス
ル
事
ヲ
記
ス
ヘ
シ

前
項
ニ
關
ス
ル
事
ヲ
記
ス
ヘ
シ

地
震
計
微
測
性
質
緩
慢
ノ
微
動
ニ
シ
テ
一
期
微
動
二
〇
秒
三
期
微
動
三
四
六
秒
終
期
微
動
一
分
五
秒
日
中
大
振
幅
〇
〇
五
秒

報
告
者
住
所
姓
名

國
郡

村
町

番
地
台
北
側
橋
北



第 五 四 九 号

地 震 報 告

明 治 四 十 三 年 第 五 六 號

報 告 者 住 所 姓 名	國 郡 村 町	番 地	雜 記		震 動 性 質	震 動 強 弱	震 動 方 向	震 動 時 間	震 動 年 月 日 時	地 名
			前 項 二 項 洩 入 記	レ タ ノ モ ル タ シ						
					水 平 動 上 下 動 聲 響 ノ 有 無 ナ 記 ス ヘ シ	微、弱、強、烈ノ四種ニ 分 記 ス ヘ シ	北、北東、東、南東、南、南 西、西、西北、西ノ八方位	秒ノ終動ノ初ヨリ震動 秒ヲ記スヘシ時及分	年 月 日 時 及 分 秒 記 ス ヘ シ (標 準 時)	地 震 ニ 感 セ シ 地 名 ヲ 記 ス ヘ シ
				世 稍 急 七 秒 微 之 地 震 之 後 僅 カ 實 報 隨 止 止 ム ノ ミ	上 下 節 奏 諸 音 ナシ	微 (人 体 感 覺 ナシ)	不 詳	五 十 六 秒	明 治 三 十 三 年 十 月 九 日 午 後 零 三 時 三 分 五 十 九 秒	臺 北
								(地 動 計 ニ ヨリ)		



中華民國十三年十月十日
 臺北總督府
 第五九號
 地震報告
 其四
 中華民國十三年十月十日
 臺北總督府
 第五九號

地震報告
 明治四十三年 第五九號

地名	震動年月日時	震動時間	震動方向	震動強弱	震動性質	雜記
臺北	明治四十三年十月十日午後七時三十分元秒	二分三秒三	北、北東、東、南東、南、西、西北、西、北西、八方位	微、弱、強、烈、四種ニ分記スヘシ	水平動、上下動、聲響ノ有無ヲ記スヘシ	<p>地動計觀測</p> <p>初期微動 一七五秒</p> <p>主要部 五三七秒</p> <p>終期微動 一分〇二秒</p> <p>終期部時 二分三秒三</p> <p>平均回數 五二回</p> <p>最大振幅 全上週期</p> <p>〇一回 〇三回</p>
基隆						
基隆						

報告者住所姓名
 國郡
 村町
 番地
 台北測候所





地 震 報 告

明治四十二年 第六 〇 號

地名

地震ニ感セシ地名
ヲ記スヘシ

昔北

年月日時

年月日時及分秒ヲ
記スヘシ(標準時)

明治四十二年十月二十九日午後一時四十分至九時

震動ノ時間

震動ノ初ヨリ震動
ノ終マテノ時及分
秒ヲ記スヘシ

一分十秒

(地動計ニ見)

震動ノ方向

北、北東、南東、南、南西、西、北西、北、西、北西ノ八方位
ニ分記スヘシ

不詳

震動ノ強弱

微、弱、強、烈ノ四種ニ
分記スヘシ

微(人伴ノ感覚ナシ)

震動ノ性質

水平動、上下動、聲響
ノ有無ヲ記スヘシ

上下部ニ聲響皆ナシ

雜 記

前項ニ洩レタルモノヲ
入記ス

地動計觀測
初期微動 八八八
主要微動 三三三
終期微動 三三九
性質急激 極微(地聲ナシ)

報告者住所姓名

國 郡

村 町

番地

台北測候所



此書
此書ニ
此書ニ
此書ニ

地震報告

明治四十三年 第六一號

地名

地震ニ感セシ地名
ヲ記スヘシ

臺北

震動年月日

年月日時及分秒ヲ
記スヘシ(標準時)

明治四十三年十月八日午前零時五十八分二十五秒

震動時間

震動ノ初ヨリ震動
終マテノ時及分
秒ヲ記スヘシ

二分十一秒八

地動計五儿

震動方向

北、北東、東、南東、南、南西、西、北西、西、北西ノ八方位
ニ分記スヘシ

不詳

震動強弱

微、弱、強、烈ノ四種ニ
分記スヘシ

微(人体ニ感覚ナシ)

震動性質

水平動、上下動、聲響
ノ有無ヲ記スヘシ

上下動並聲響知者ナシ

雜記
前項ニ洩タルモノ
ノモルタルヲ入シ

地動計觀測
初期微動 一五五秒
主要動 四八四秒
終期微動 一分七九秒
平均周期 最大振幅
性質稍緩ニ於微地震也

報告者住所姓名

國郡

村町

番地 台北測候所

震
第
明治甲申年十月九日
九二
号地

震

報告

明治四十三年

第六

二號

報告者住所姓名	國郡	村町	番地	地名		震動ノ年月日時	震動ノ時間	震動ノ方向	震動ノ強弱	震動ノ性質	雜記	
				地	名						前項ニ洩入シタルモノ	前項ニ洩入シタルモノ
				基隆北	基隆北	明治甲申年十月九日午後六時四十分十八秒	四十秒六	不詳	微	弱	水	極微地震波動ヲ示ス
									微	弱	水	極微地震波動ヲ示ス
									微	弱	水	極微地震波動ヲ示ス

臺北測候所

極微地震波動ヲ示ス

水

微

不詳

四十秒六

明治甲申年十月九日午後六時四十分十八秒

基隆北

二號



Vertical text on the right margin, possibly a library or collection stamp.

地震報告

明治四十二年 第六三號

地名	年月日時及分秒	震動ノ時間	震動ノ方向	震動ノ強弱	震動ノ性質	前項ニ洩入ルモノヲ記ス
臺北	明治四十二年十月十一日午前七時零一分十秒	三十五秒	不詳	微(人傳ニ感覺ナシ)	上下初至ノ聲如音ナシ	極微地震ニシテ僅カニ其振跡ヲ示スノコト

報告者住所姓名

國郡

町

番地

台北測候所





報告者住所姓名	雜記 前項ニ洩レタルモノヲモルシヘス	震動ノ性質	震動ノ強弱	震動ノ方向	震動ノ時間	震動ノ年月日時	地名
							地震ニ感セシ地名ヲ記スヘシ
國郡							台北
村町							明治甲三年十月十一日午後五時五分至七分
番地							五分十秒
台北測候所							不詳
							微(人体感覺十)
							上下動並ニ聲身細音ナシ
							初期計観測
							平均固好 具大振幅
							初期微初 一五九秒
							主要初 八二秒
							二期微初 二二秒
							三期微初 三六〇秒
							総震初時 三分十秒





報告者住所姓名	國郡	町	番地	雜記		震動ノ性質	強弱	震動ノ方向	震動ノ時間	年月日時	地名
				前項ニ洩レタルモノヲシヘス	記						
				極微ノ地震ニシテ僅カニ其兆跡ヲ示スノミ		水平動、上下動、聲響ノ有無ヲ記スヘシ	微、弱、強、烈ノ四種ニ分記スヘシ	北、北東、南東、南、西、西北、西南、八方位ニ分記スヘシ	秒ヲ終マテノ時及分ヲ記スヘシ	年月日時及分秒ヲ記スヘシ(標準時)	地震ニ感セシ地名ヲ記スヘシ
			台北	上下布並ニ聲響有テシ			微(人体ニ感覺ナシ)	不詳	年六秒	明治甲三年十月十二日午前十一時十八分十九秒	台北
			台北								



Handwritten notes on the right margin, including vertical text and a date: 明治甲三年十月十二日午前十一時十八分十九秒.

中華民國三年十一月十七日
 台北測候所
 地震報告

地震報告 明治四三年 第六六號

地名 地震ニ感セシ地名
 台北

年月日時 年月日時及分秒ヲ記スヘシ(標準時)
 明治四年十一月十四日午後零時五分五秒

震動ノ時間 震動ノ初ヨリ震動ノ終マテノ時及分秒ヲ記スヘシ
 五分七秒一 (地動計ニヨル)

震動ノ方向 北、北東、東、南東、南、南西、西、北西、北、八方位ニ分記スヘシ
 不詳

震動ノ強弱 微、弱、強、烈ノ四種ニ分記スヘシ
 微 (人体ニ感覺ナシ)

震動ノ性質 水平動、上下動、聲響ノ有無ヲ記スヘシ
 細微ノ音アリ 聲響アリ 稍緩慢

雜記 前項ニ洩入レタルモノヲノ記
 地動計觀測
 初期微動 一五八秒 平均圓期 最大振幅
 主要動 四七一秒 一二秒
 終期微動 一分四二秒
 終期主要動 二分七二秒

報告者住所姓名 國郡 台北測候所

地名
地震ニ感セシ地名
ヲ記スヘシ

臺北

年月日
年月日時及分秒ヲ
記スヘシ(標準時)

明治甲午年十一月十四日午後二時三十分四分

震動ノ
時間
震動ノ初ヨリ震動
ヲ終マテノ時及分
秒ヲ記スヘシ

一分三十三秒九

(地動計ニ見)

震動ノ
方向
北、北東、東、南東、南、南西、西、北西、西ノ八方位
ニ分記スヘシ

不詳

震動ノ
強弱
微、弱、強、烈ノ四種ニ
分記スヘシ

微(人体ニ感覺ナシ)

震動ノ
性質
水平動、上下動、聲響
ノ有無ヲ記スヘシ

上下動並、聲響皆ナシ

精緩慢

項前
ニ入
洩入
レタ
ルモ
ルナ
シヘ
ス

地動計観測

初期微動 一五、二秒
主要微動 二六、四秒
終期微動 五七、三秒
総震動時 一分三十三秒九

平均周期

最大振幅

報告者住所姓名

國郡

町村

番地 台北測候所



普通地震計観測

水子動 稍緩慢に微弱に始り、夜夜時より十五秒五の經り急に振幅
 の増大し、五、五秒五、後二、秒、付方向南東―北西（南五十五度東）
 一六六秒（震五分）、最大振動（最大加速は毎秒毎秒八十二秒）を示し
 其及動上と北西と南東と向て至三秒（四尺六分七厘）の波動の幅、爾後
 分間、震動顕著也、後漸次微弱となり、靜止、終震前時間
 約五分

上下動 右稍緩慢に微弱に始り、初震より八、二秒の經り振幅
 の増大し、水子動の最大と殆ど同時に、下より上へ、六秒の付四三三（四尺五分三
 厘）、最大振動を示し、上下へ五秒七（四尺五分七厘）の反動を示し、若明な
 時間約一分五秒の間、水子動と殆ど同時に、靜止す

此
七
此
七
此
七

七
此
七
此
七

此
靈
癖
告

明
治
四
三
年
第
六
八
號

地
震
報
告

明
治
四
三
年
第
六
八
號

地名

地震ニ感セシ地名
ヲ記スヘシ

臺北

年月日

年月日時及分秒ヲ
記スヘシ(標準時)

明治四三年十月十曾午後三時三十分三秒

震動ノ時間

震動ノ初ヨリ震動
ノ終マテノ時及分
秒ヲ記スヘシ

約五分

震動ノ方向

北、北東、東、南東、南、南西、西、北西、八方位
ニ分記スヘシ

南京一北西(南五二度東)

震動ノ強弱

微弱、強、烈ノ四種ニ
分記スヘシ

弱(弱キ云) 最大加速毎秒毎秒八十二

震動ノ性質

水平動、上下動、聲響
ノ有無ヲ記スヘシ

上下動ノ聲響皆ナシ

雜

記

前項ニ洩レタルモルヲシヘス

地動計規則

初期微動 一七五秒

第一主要動 五分五七五秒 第三波目ニ於テ猶新速出詳細不明

第二主要動 三分六六秒 震動中ニ地震了詳細不明ナルモ初部

終期微動 五分三三秒 震動中至一内ニ地震了

終震動時間 五分八分〇七秒



報告者住所姓名

國郡

町

番地

台北測候所

此
各
註
算
二
三
ノ
註
各
臺
此

地震報告

明治四三年 第六九號

地名	震動年月日時	震動時間	震動方向	震動強弱	震動性質	雜記
台北	明治四三年十月十四日午後三時五十分十三秒	四十五秒	不詳	微弱	水平動、上下動、聲響	極微、地震ニシテ前号の震終期微而震動中、起ル

報告者住所姓名

國郡

村町

番地

台北

板橋



此 震 報 告

地 震 報 告

明治四三年 第七〇號

地名
地震ニ感セシ地名
ヲ記スヘシ

臺北

年月日
年月日時及分秒ヲ
記スヘシ(標準時)

明治四三年十月午後六時十分至十

震動ノ
時間
震動ノ初ヨリ震動
秒ヲ終マテノ時及分
秒ヲ記スヘシ

一分至九秒八

(地動計ニ見)

震動ノ
方向
北、北東、東、南東、南、南
西、西、北西、北、方位

不詳

震動ノ
強弱
微、弱、強、烈ノ四種ニ
分記スヘシ

微(人体ニ感覺ナシ)

震動ノ
性質
水平動、上下動、聲響
ノ有無ヲ記スヘシ

初期並ニ聲響ナシ

稍緩

雜 記
前項ニ洩レタルモルヲ
入シヘス

地動計觀測
初期微動 一五〇秒
主期微動 二五七秒
終期微動 四九一秒
總震動時間一分二九八秒
平均週期 一〇秒
最大振幅 〇・九尺

報告者住所姓名

國 郡

村 町

番地

台北測候所





民國日...
 民國...
 民國...
 民國...

報告者住所姓名	國郡	村町	番地	雜記		地震ノ性質	強弱	震動ノ方向	震動ノ時間	震動ノ年月日時	地名
				前項ニ入ルモノ	後項ニ入ルモノ						
				<p> 地初計観測 弱微初 一四一初 主要初 四四三初 終期微初 分五〇秒 平均圓形 長二脈幅 </p>		<p> 水平動、上下動、聲響ノ有無ヲ記スヘシ </p>	<p> 微、弱、強、烈ノ四種ニ分記スヘシ </p>	<p> 北、北東、東、南東、南、西、西北、北西、八方位ニ分記スヘシ </p>	<p> 震動ノ初ヨリ震動ノ終マテノ時及分秒ヲ記スヘシ </p>	<p> 年月日時及分秒ヲ記スヘシ(標準時) </p>	<p> 地震ニ感セシ地名ヲ記スヘシ </p>
			台北測候所	<p> 不明 一四一初 四四三初 分五〇秒 平均圓形 長二脈幅 </p>						<p> 明治三十三年十月十日午後七時〇分十六秒 二分十五秒四 (地初計ニ見) </p>	<p> 臺北 </p>



報告者住所姓名	雜記 前項ニ洩レタルモノ ノ入シヘス	震動ノ性質	震動ノ強弱	震動ノ方向	震動ノ時間	年月日時	地名
		水平動、上下動、聲響ノ有無ヲ記スヘシ	微、弱、強、烈ノ四種ニ分記スヘシ	北、北東、東、南東、南、西、西北、西、北西、八方位ニ分記スヘシ	震動ノ初ヨリ及分秒ヲ終マテノ時及分秒ヲ記スヘシ	年月日時及分秒ヲ記スヘシ(標準時)	地震ニ感セシ地名ヲ記スヘシ
國郡村町	其來既ラ示スノト	上下動並ニ聲響皆ナシ	微(無感)	不詳	三十九秒 地部計	明治三十五年十月十四日午後七時五十三分四秒	蘆北
番地	台北測候所						



其來既ラ示スノト
 上下動並ニ聲響皆ナシ
 微(無感)
 不詳
 三十九秒
 地部計
 明治三十五年十月十四日午後七時五十三分四秒
 蘆北



平旦日
 平旦日初夜録
 七時六分
 賦賞ニ懸テニ録
 天
 平旦日初夜録
 七時六分
 賦賞ニ懸テニ録

十月廿五日午後三時十五分至前二時九分間ニ在記七圓ノ地裂計
 ニ感ズレテ地初計ニ有感ニ云ル極微ノ地裂ヲ観測ス

十四日

午後三時三十八分二十三秒

午後九時五十二分十秒

午後十時三十二分三十三秒

十五日

午前一時三十分十秒

午前一時三十九分三秒

午前二時十七分三十三秒

午前三時五分四十九秒

洋目
氏日知衣録
其北

其北
其北

地名
地震ニ感セシ地名
ヲ記スヘシ
其北

年月日
年月日時及分秒ヲ
記スヘシ(標準時)
明治四十二年十月十四日午後十時三十分五十七秒

震動ノ
震動ノ初ヨリ震動
秒ヲ終マテノ時及分
秒ヲ記スヘシ
一分五十七秒三

震動ノ
北、北東、東、南東、南、南
西、西、北、西ノ入方位
不詳

震動ノ
微、弱、強、烈ノ四種ニ
分記スヘシ
微(無感)

震動ノ
水不動上下動聲響
ノ有無ヲ記スヘシ
上下動並ニ聲響ナシ
稍緩慢

雜
項前
記
初期微初 一回八秒
主要初 三・一・二秒
終期微初 五・五・三秒
平均四期
最大振幅
〇・一〇秒

報告者住所姓名
國 郡 村 町
番地
名北測候所





震
第
四
〇
七
〇

報告者住所姓名	國 郡 村町	番地	雜記		震動ノ性質	強弱	震動ノ方向	震動ノ時間	年月日時	地名
			前項ニ入ルニシテ	他ノ事ヲ記スヘシ						
					水 平 動 上 下 動 聲 響 ノ 有 無 ヲ 記 ス ヘ シ	微、弱、強、烈ノ四種ニ 分記スヘシ	北、北東、東、南東、南、 西、西北、西、西南、南 ニ分記スヘシ	震動ノ初ヨリ震動 ノ終マテノ時及分 秒ヲ記スヘシ	年月日時及分秒ヲ 記スヘシ(標準時)	地震ニ感セシ地名 ヲ記スヘシ
				極微、地震ニシテ其痕跡ヲ止ムルニ	上下初聲響如雷ナシ	微(人体ニ感覺ナシ)	不詳	五十九秒	明治四十年十月十六日午後零時六分三十六秒	臺北
										臺北

臺北測候所


中華民國
 臺北測候所
 第四〇七〇號
 臺北

報告者住所姓名	國郡村町	番地	地名		震動年月日	震動時間	震動方向	震動強弱	震動性質
			地震ニ感セシ地名	ナ記スヘシ	年月日時及分秒ヲ記スヘシ(標準時)	震動ノ初ヨリ震動ノ終マテノ時及分秒ヲ記スヘシ	北北東東南南西西北西ノ八方位ニ分記スヘシ	微弱強烈ノ四種ニ分記スヘシ	水平動上下動聲響ノ有無ヲ記スヘシ
			基隆	基隆北	明治四十三年十月廿八日午前一時四十分三秒	一分三秒	不詳	微(人体ニ感覺ナシ)	未初等聲響ノ音ナシ

基隆地震也

基隆北

一分三秒

不詳

微(人体ニ感覺ナシ)

未初等聲響ノ音ナシ

前項ニ洩レタルモノヲ入シヘス



地震ニ感セシ地名
ナ記スヘシ

明治四十二年八月

此... 地震ニ感セシ地名
其... 地震ニ感セシ地名

報告者住所姓名	記 雜 前項ニ洩レタルモルヲ 記スヘシ	震動ノ	強 弱	方 向	震動ノ	時 間	年 月 日	地 名
		性 質 ノ有無ヲ記スヘシ	微 弱 ノ分記スヘシ	北 北東 南東 南 西 西北 西南 方位	微 弱 強 烈 ノ 四 種 ニ 分 記 ス ヘ シ	秒ノ終動ノ初ヨリ震動 秒ヲ終動ノ初ヨリ震動 分ヲ終動ノ初ヨリ震動	年月日時及分秒ヲ 記スヘシ(標準時)	地震ニ感セシ地名 ヲ記スヘシ
		不詳	微	不詳	微	五十八秒	明治四十二年八月十日午後十時三十分五分	菅北
	板微ノ地震也		不詳	不詳	微	(人作ノ感覚ナシ)		
						地高計三三九		

國 郡 町 村 番地 北測候也



報 告 者 住 所 姓 名	雜 記 前 項 二 洩 入 記 シ ノ モ ル ダ レ シ ヘ ス 入 記	震 動 ノ 性 質	震 動 ノ 強 弱	震 動 ノ 方 向	震 動 ノ 時 間	震 動 ノ 年 月 日	地 名
		水 平 動 上 下 動 聲 響 ノ 有 無 チ 記 ス ヘ シ	分 記 ス ヘ シ 微 弱 強 烈 ノ 四 種 ニ	北 北 東 南 東 南 南 西 西 北 西 ノ 八 方 位 ニ 分 記 ス ヘ シ	震 動 ノ 初 ヨリ 震 動 秒 ノ 終 マ テ ノ 時 及 分 秒 チ 記 ス ヘ シ	年 月 日 時 及 分 秒 記 ス ヘ シ (標 準 時)	地 震 ニ 感 セ シ 地 名 ヲ 記 ス ヘ シ
	粗 細 微 其 痕 跡 ヲ 止 ム ル 也	上 下 動 無 聲 響 有 也	微 一 年 々 感 覺 ナ シ	不 詳	不 詳	明 治 四 十 三 年 十 月 午 前 九 時 十 五 分 十 六 秒	甘 藷 北

國 郡

村 町

番 地

台 北 測 候 所



震

北

臺

北

明治四十三年

第八

五號

地名

地震ニ感セシ地名
ヲ記スヘシ

臺北

年月日

年月日時及分秒ヲ
記スヘシ(標準時)

明治四十三年十一月廿五日下午八時十七分四十七秒

震動ノ
時間

震動ノ初ヨリ震動
終マテノ時及分
秒ヲ記スヘシ

一層四十六秒二

(地動計ニヨリ)

震動ノ
方向

北北東東南南南
西西北西ノ八方位
ニ分記スヘシ

不詳

震動ノ
強弱

微弱強烈ノ四種ニ
分記スヘシ

微(無感)

震動ノ
性質

水平動上下動聲響
ノ有無ヲ記スヘシ

細微ノ上下動ノ聲響有リ

箱紋

雜記

前項ニ洩シ入ルモノ
ヲモルタルシヘス

地動計觀測
平均四秒
最大六秒

初動微動
一九七秒

主動初
三二四秒
〇一五秒

終動微動
五六一秒

總震動時間
一層四十六秒二

報告者住所姓名

國郡

町

番地

台北測候所





震報 明治四十三年 第八六號

震名 臺北

地名

地震ニ感セシ地名
ヲ記スヘシ

臺北

年月日

年月日時及分秒ヲ
記スヘシ(標準時)

明治四十三年十月廿五日午後九時三十分四十八秒

震動ノ時間

震動ノ初ヨリ震動
秒ヲ終マテノ時及分
秒ヲ記スヘシ

三十四秒

北部計三三九

震動ノ方向

北北東東南南
西西北西ノ八方位
ニ分記スヘシ

不詳

震動ノ強弱

微弱強烈ノ四種ニ
分記スヘシ

微(無感)

震動ノ性質

水平動上下動聲響
ノ有無ヲ記スヘシ

北部並ニ聲響ナシ

前項ニ洩タルモルヲノ
記入スヘシ

相微ノ地震也

報告者住所姓名

國 郡

村 町

番地 台北測候所



地震ニ感セシ地名
ヲ記スヘシ

地震ニ感セシ地名
ヲ記スヘシ

地震ニ感セシ地名
ヲ記スヘシ

地震ニ感セシ地名
ヲ記スヘシ

基隆

年月日時及分秒ヲ
記スヘシ(標準時)

明治四十二年十月廿九日午前十時三十分至四時

震動ノ
時間

一時十分至五十分

(地動計三九)

震動ノ
方向

不詳

震動ノ
強弱

微(人體ニ感スアリ)

震動ノ
性質

上下初下

緩慢

前項ニ洩タルノ
記

初期微動 三六二秒
主震動 二三四秒
終期微動 一三三秒
五分五秒
二分四秒
三分四秒
七分七秒
七分二秒
總震動時間 四分五十分
一、二、三、四、五、六、七、八、九、一〇、一一、一二、一三、一四、一五、一六、一七、一八、一九、二〇、二一、二二、二三、二四、二五、二六、二七、二八、二九、三〇、三一、三二、三三、三四、三五、三六、三七、三八、三九、四〇、四一、四二、四三、四四、四五、四六、四七、四八、四九、五〇、五一、五二、五三、五四、五五、五六、五七、五八、五九、六〇、六一、六二、六三、六四、六五、六六、六七、六八、六九、七〇、七一、七二、七三、七四、七五、七六、七七、七八、七九、八〇、八一、八二、八三、八四、八五、八六、八七、八八、八九、九〇、九一、九二、九三、九四、九五、九六、九七、九八、九九、一〇〇

報告者住所姓名

國郡

町

番地

台北測候所

台北測候所



臺灣總督府
地

震
報告

明治三十二年

第九

號

報告者住所姓名	地名	震動年月日時	震動時間	震動方向	震動強弱	震動性質	雜記
							前項ニ洩タルノモルタルシヘス入記
	甘望北	明治三十二年十月廿九日午前十一時三十分至五十九秒	不詳	不詳	微(無感)	上下初至之聲即消ナシ	極微地震ニシテ地初升ル聲以テ僅リト其痕跡ヲ示ス

報告者住所姓名

國郡

村町

番地

甘望北測候所



此 各 七 蹟 ス ヘ 七 蹟 實 ニ 憑 テ 七 蹟 余

七 蹟 實

地 震 二 感 セ シ 地 名

震 報 告

明 治 四 十 三 年

第 九

三 號

地 名

地 震 二 感 セ シ 地 名

震 報 告

震 動 年 月 日

年 月 日 時 及 分 秒

明 治 四 十 三 年 十 月 三 十 日 午 前 八 時 十 九 分 五 秒

震 動 時 間

震 動 ノ 初 ヨリ 震 動 終 マテ ノ 時 及 分 秒

一 分 四 十 六 秒 四

(地 初 計 三 元)

震 動 方 向

北 北 東 南 東 南 西 西 北 西 ノ 八 方 位

不 詳

震 動 強 弱

微 弱 強 烈 ノ 四 種 ニ 分 記 ス

微 (無 感)

震 動 性 質

水 平 動 上 下 動 聲 響 ノ 有 無

上 下 初 益 二 聲 響 有 テ

初 急

前 項 二 洩 入 記 雜 記

北 初 計 観 測

初 期 微 動 一 分 四 十 七 秒
主 要 動 二 分 七 三 秒
終 期 微 動 一 分 四 十 四 秒

平均 周期 〇 九 秒

最大 振幅 〇 一 四 七 〇

終 期 初 時 間 一 分 四 十 六 秒 四

報 告 者 住 所 姓 名

國 郡

村 町

番 地

台 北 側 候 計



此
カ
震
ニ
恐
チ
ハ
感
ス

震
動
ノ
強
弱
ノ
別
ニ
分
ス

地
名
ニ
感
セ
シ
地
名
ヲ
記
ス
ヘ
シ

報
告

明
治
三
十
三
年

第
一
卷

第
四
號

震
動
ノ
年
月
日

年
月
日
時
及
分
秒
ヲ
記
ス
ヘ
シ
(標
準
時)

甘
肅
北

震
動
ノ
時
間

震
動
ノ
初
ヨ
リ
震
動
ノ
終
マ
テ
ノ
時
及
分
秒
ヲ
記
ス
ヘ
シ

明
治
三
十
三
年
十
月
二
日
午
前
五
時
零
分
四
十
一
秒

震
動
ノ
方
向

北
北
東
東
南
東
南
西
西
北
北
西
ノ
八
方
位
ニ
分
記
ス
ヘ
シ

不
詳

震
動
ノ
強
弱

微
弱
強
烈
ノ
四
種
ニ
分
記
ス
ヘ
シ

微
弱
(人
体
ニ
愈
覺
ナ
シ)

震
動
ノ
性
質

水
平
動
上
下
動
聲
響
ノ
有
無
ヲ
記
ス
ヘ
シ

上
下
節
無
シ
聲
響
有
リ

雜
記

前
項
ニ
洩
レ
タ
ル
モ
ル
ヲ
シ
ヘ
ス
入
記

緒
緩
慢

報
告
者
住
所
姓
名

地
部
可
觀
測

地
部
可
觀
測

報
告
者
住
所
姓
名

地
部
可
觀
測

地
部
可
觀
測

報
告
者
住
所
姓
名

地
部
可
觀
測

地
部
可
觀
測

報
告
者
住
所
姓
名

地
部
可
觀
測

地
部
可
觀
測

報
告
者
住
所
姓
名

地
部
可
觀
測

地
部
可
觀
測

報
告
者
住
所
姓
名

地
部
可
觀
測

地
部
可
觀
測

報
告
者
住
所
姓
名

地
部
可
觀
測

地
部
可
觀
測

甘
肅
北



震動ノ
 年月日
 地震ニ感セシ地名
 ナ記スヘシ
 地震ニ感セシ地名
 ナ記スヘシ
 地震ニ感セシ地名
 ナ記スヘシ

地震ノ
 年月日
 年月日時及分秒ヲ
 記スヘシ(標準時)
 基隆北

地震ノ
 時間
 地震ノ初ヨリ震動
 秒ヲ終マテノ時及分
 秒ヲ記スヘシ
 三十八秒
 (地動計ニ示ル)

地震ノ
 方向
 北北東東南東南南
 西西北西ノ八方位
 不詳

地震ノ
 強弱
 微弱強烈ノ四種ニ
 分記スヘシ
 微(無感心)

地震ノ
 性質
 水平動上下動聲響
 ノ有無ヲ記スヘシ
 上下動並ニ聲如雷ナリ

雜記
 前項ニ洩タルモルヲ
 入シヘス
 地動計觀測
 柱礎に裂き、土條力に其痕跡ヲ止ムルナリ

報告者住所姓名
 國 郡 村 町
 番地
 台北測候所

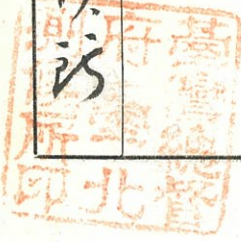




四二九

震動ノ	年月日時及分秒ヲ	地震ニ感セシ地名	地震ニ感セシ地名	年月日時及分秒ヲ	地震ニ感セシ地名
記スヘシ(標準時)	記スヘシ(標準時)	記スヘシ(標準時)	記スヘシ(標準時)	記スヘシ(標準時)	記スヘシ(標準時)

報告者住所姓名	國郡町村	番地	雜記		震動ノ性質	強弱	震動ノ方向	震動ノ時間	震動ノ年月日時	地名
			前項ニ洩シテ入ルモノ	ノモルタルシヘス入ルモノ						
					水平動上下動聲響ノ有無ヲ記スヘシ	微弱強烈ノ四種ニ分記スヘシ	北北東東南南西西北西ノ八方位ニ分記スヘシ	震動ノ初ヨリ震動ノ終マテノ時及分秒ヲ記スヘシ	年月日時及分秒ヲ記スヘシ(標準時)	地震ニ感セシ地名ヲ記スヘシ
				松嶺ノ地震ニシテ詳細ヲ知能ハズ		微(人體ノ感覺ナシ)	不詳	五十八秒	明治四十二年十一月九日午後四時四十分三十九秒	甚北
					上下動並ニ聲響者ナシ			(地部計ニ入)		



手民印御式依條キ
 御覽ニ懸テハ誠ホ
 甚ク
 明治四十二年五月十五日午前十一時三十分
 北
 地
 報
 冊
 頁
 第

報告者住所姓名	地名	年月日時及分秒 ノ 記スヘシ(標準時)	震動ノ 時 間	震動ノ 方 向	震動ノ 強 弱	震動ノ 性 質	記	雜
							前項ニ 洩レ 入 シ ヘ ス ノ モ ル タ レ	前項ニ 洩レ 入 シ ヘ ス ノ モ ル タ レ
國 郡 村 町 番地 台北測候所	台北	明治四十二年五月十五日午前十一時三十分	四十秒 (地初升ニ見)	不詳	微弱 (人作ノ感覺ナシ)	水平動上下動聲響 ノ有無ヲ記スヘシ	檢微地震ニシテ詳細ノ知能ハズ	





野山地 震

報 告

日 月

年 月

頁 数

録 録
キ 諸 々
録 録 二 録 三 録 四

録 録
録 録 二 録 三 録 四
録 録 二 録 三 録 四
録 録 二 録 三 録 四
録 録 二 録 三 録 四

報告者住所姓名	國 郡 村 町	番地	雜 記		震動ノ性質	強 弱	震動ノ方向	震動ノ時間	震動ノ年月日	地名
			前項ニ洩レタルモノヲ入シ	ノ有無ヲ記スヘシ						
台北測候所	台北測候所	台北測候所	初期微動 主要動 終期微動	一三九 三二一 一合二六六	水 平 動 上 下 動 聲 響 ノ 有 無 ヲ 記 ス ヘ シ	微 弱 強 烈 ノ 四 種 ニ 分 記 ス ヘ シ	北 北 東 東 南 南 東 南 南 西 西 北 北 西 西 八 方 位 ニ 分 記 ス ヘ シ	震 動 ノ 初 ヨリ 震 動 秒 終 記 ス ヘ シ 時 及 分 秒 終 記 ス ヘ シ 時 及 分	年 月 日 時 及 分 秒 ヲ 記 ス ヘ シ (標 準 時)	地 震 ニ 感 セ シ 地 名 ヲ 記 ス ヘ シ
			台北測候所	一三九		微 弱 強 烈 ノ 四 種 ニ 分 記 ス ヘ シ	北 北 東 東 南 南 東 南 南 西 西 北 北 西 西 八 方 位 ニ 分 記 ス ヘ シ	震 動 ノ 初 ヨリ 震 動 秒 終 記 ス ヘ シ 時 及 分 秒 終 記 ス ヘ シ 時 及 分	年 月 日 時 及 分 秒 ヲ 記 ス ヘ シ (標 準 時)	地 震 ニ 感 セ シ 地 名 ヲ 記 ス ヘ シ
			台北測候所	一三九		微 弱 強 烈 ノ 四 種 ニ 分 記 ス ヘ シ	北 北 東 東 南 南 東 南 南 西 西 北 北 西 西 八 方 位 ニ 分 記 ス ヘ シ	震 動 ノ 初 ヨリ 震 動 秒 終 記 ス ヘ シ 時 及 分 秒 終 記 ス ヘ シ 時 及 分	年 月 日 時 及 分 秒 ヲ 記 ス ヘ シ (標 準 時)	地 震 ニ 感 セ シ 地 名 ヲ 記 ス ヘ シ
			台北測候所	一三九		微 弱 強 烈 ノ 四 種 ニ 分 記 ス ヘ シ	北 北 東 東 南 南 東 南 南 西 西 北 北 西 西 八 方 位 ニ 分 記 ス ヘ シ	震 動 ノ 初 ヨリ 震 動 秒 終 記 ス ヘ シ 時 及 分 秒 終 記 ス ヘ シ 時 及 分	年 月 日 時 及 分 秒 ヲ 記 ス ヘ シ (標 準 時)	地 震 ニ 感 セ シ 地 名 ヲ 記 ス ヘ シ



民國日報
 中華民國十三年十一月十四日
 第 一 〇 〇 號
 臺灣總督府
 臺北

地 震 報 告

明治四十三年 第一〇〇號

報告者住所姓名	國 郡 村 町	番地	雜 記		震動ノ性質	強 弱	震動ノ方向	震動ノ時間	震動ノ年月日	地名
			前項ニ洩シテ入ルモノ	ノモルタルシヘス						
					水平動上下動聲響ノ有無ヲ記スヘシ	微弱強烈ノ四種ニ分記スヘシ	北東西南東南西南西北西ノ八方位ニ分記スヘシ	震動ノ初ヨリ及分秒ヲ終マテノ時及分秒ヲ記スヘシ	年月日時及分秒ヲ記スヘシ(標準時)	地震ニ感セシ地名ヲ記スヘシ
					極微ノ地震ニシテ其詳細ヲ知ル能ハス	微(無感覺)	不詳	不明	明治四十三年十一月廿四日午後十時三十分至四十分	臺北
					上ノ節ニ其詳細ヲ記ス			(地動計ニ見)		



第 八 号

地 震

報 告

明 治 四 十 三 年 第 一 〇 一 号

第 八 号

第 一 〇 一 号

地 名

七 頭 大 へ へ
地 震 二 感 七 地 名
テ 記 ス へ シ

其 北

震 動 年 月 日

年 月 日 時 及 分 秒
記 ス へ シ (標 準 時)

其 北

震 動 時 間

震 動 ノ 初 ヨリ 震 動
ノ 終 マ テ ノ 時 及 分
秒 テ 記 ス へ シ

明 治 三 十 三 年 十 二 月 廿 七 日 午 前 三 時 五 十 三 分 二 秒

震 動 方 向

北、北 東、東、南 東、南、南 西、西、北 西、八 方 位
ニ 分 記 ス へ シ

不 詳

地 動 計 見

震 動 強 弱

微、弱、強、烈ノ 四 種ニ
分 記 ス へ シ

不 詳

震 動 性 質

水 平 動、上 下 動 聲 響
ノ 有 無 テ 記 ス へ シ

微 (人 作ニ 感 覚 ナシ)

雜 記

前 項ニ 洩 入
シ へ ス

其 北 測 候 所

極 微 地 震 三 三 其 詳 納 知 能 不

報 告 者 住 所 姓 名

前 項ニ 洩 入
シ へ ス

國 郡 村 町

番 地

其 北 測 候 所

其 北 測 候 所



震

震

震

震

震

震

震

震

震

震

震

震

震

震

此

此

此

此

此

此

此

此

此

此

此

此

此

地名

地震ニ感セシ地名
ヲ記スヘシ

臺北

震動年月日

年月日時及分秒ヲ
記スヘシ(標準時)

明治四十三年三月三十一日午前五時十八分五十六秒

震動時間

震動ノ初ヨリ震動
ノ終マテノ時及分
秒ヲ記スヘシ

一分三十九秒九

地震計ニ見

震動方向

北、北東、東、南東、南、南西、西、西北、北西、北、西、西北、北西、北、西、西北、北西

不詳

震動強弱

微弱、強、烈ノ四種ニ
分記スヘシ

微(人体ニ感覺アリ)

震動性質

水平動、上下動、聲響
ノ有無ヲ記スヘシ

細微、上下動アリ、聲響アリ

前項ニ洩入シタルモノ
ノ記

世初計観測
初期微動 一〇・八秒
主要動 二八・〇秒
終期微動 五一・二秒
平均四秒
最大振幅
〇・九秒
〇・二秒
性稍急

報告者住所姓名

總家初町
一分三十九秒九

國郡

台北

台北





第... 冊

地名
地震ニ感セシ地名
ヲ記スヘシ

臺北

岩

冊...

...

...

...

震動ノ年月日時
年月日時及分秒ヲ記スヘシ(標準時)

明治四十二年十二月廿一日午後三時三十分至五分

震動ノ時間
震動ノ初ヨリ及分秒ヲ終マテノ時及分秒ヲ記スヘシ

二分四秒八
地動計ニ見

震動ノ方向
北北東、東、南東、南、西、北西、西南、方位ニ分記スヘシ

不詳

震動ノ強弱
微、弱、強、烈ノ四種ニ分記スヘシ

微(人作ノ感覺ナシ)

震動ノ性質
水平動、上下動、壁響ノ有無ヲ記スヘシ

細微ノ上下動ヲ察覺ナシ
相續後

項前記
ニ入
洩ス
レハ
タル
モル
シ

地動計欲測
初期微動 一六八秒
平均周期 是是振幅
主要動 二八八秒
終期微動 五分三九二秒
總震初時 二分〇四秒八

報告者住所姓名

國郡

町村

番地

臺北測候所

